

補助事業番号 2024M-210
補助事業名 2024年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 報恩会

1 補助事業の概要

特別養護老人ホーム ラグナケア千鳥山荘の特殊浴槽は開設時より17年間使用しており、シャワーチェアや給湯装置などに不具合が生じ、修理をする回数が増えてきました。今回、公益財団法人JKA様の補助金の交付を受けて、フルリクライニングできるシャワーチェアを兼ね備えた特殊浴槽とストレッチャー対応型リフト浴槽を1階と3階に設置することができ、それにより、現状の特殊浴槽ではできなかったストレッチャーでの入浴が可能となり、座位での入浴が難しかった方にも寝たままの姿勢で入浴していただけるようになり、より介護度の高い利用者様の受け入れもできるようになりました。

2 予想される事業実施効果

整備した特殊浴槽は、ストレッチャー対応型リフト浴槽とフルリクライニング式車椅子対応の浴槽であるため、寝たままの入浴が可能になり、これまで座る事が難しく当施設の利用を断念された方の入所も受けることができるようになると思っています。また、入浴時間や温度も数値化されており、安心安全でより快適な入浴サービスを提供できると思われます。また、1階に設置したストレッチャー対応型リフト浴槽はマイクロバブル機能を兼ね備えており、しわや毛穴の奥の老廃物を落とし、身体の芯まで温めるため湯冷めしにくく血行促進により、健康維持・増進、皮膚状態の改善も期待できます。介護職員においても、かがまずに介助ができるため腰痛予防や移乗の際の負担が軽減されると思われます。

3 本事業により導入した機器

① 1階：リクシー（スタンダードタイプ浴槽・片持型ストレッチャー）

(<https://www.houonkai.jp/news/202411.html>)



- ・マイクロバブル機能を備えており、入浴するだけで身体のすみずみまでマイクロバブルが届き、毛穴の奥の老廃物をやさしく浮き上がらせ、気になるにおいの元も洗い流します。入浴後も温かさが持続し、通常のお湯と比べ、身体の芯まで温めます。
- ・ストレッチャーの脚部が浴槽下部に潜り込むので、介助者が入浴する方の真横まで近づくことができ、浴槽の縁の高さも80cm、腰をかがめずに楽な姿勢で介助ができます。
- ・やけどを未然に防ぐため、給湯温度が46度以上になると給湯は自動停止し、同時に表示部も点滅しアラートを出すよう温度管理システムが備えられています。

② 3階：スクーピングバス カトレア （フルリクライニング式入浴用車椅子 2台）



(<https://www.houonkai.jp/news/202411.html>)

- ・洗身が行いやすいフルリクライニング機能により汚れを落としにくい臀部などもキレイにすることができます。
- ・入浴用車椅子が分離しない構造のため、音や振動が少なく、事故のリスクが大幅に軽減しました。

設置場所： 兵庫県神戸市兵庫区千鳥町3丁目5-1

特別養護老人ホーム ラグナケア千鳥山荘 1階・3階

③ 本事業に係る印刷物等

設置告知・ラグナケア千鳥山荘デイ新聞・小規模千鳥通信

(<https://www.houonkai.jp/news/202411.html>)



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 報恩会

(シャカイフクシホウジン ホウオンカイ)

住 所： 〒652-0022

神戸市兵庫区千鳥町3丁目5-1

代 表 者： 理事長 奥野 和年 (リジチョウ オクノ カズトシ)

担当部署： 特別養護老人ホーム ラグナケア千鳥山荘

(トクベツヨウゴロウジンホーム ラグナケアチドリサンソウ)

担当者名： 課長 伊豆田 直子 (カチョウ イズタ ナオコ)

電話番号： 078-579-6200

F A X： 078-579-6300

E-mail： chidori.ns@houonkai.jp

U R L： <https://houonkai.jp/>